

## 質 問 回 答

2015 年 4 月 27 日

「バングラデシュ国橋梁維持管理プロジェクト【有償勘定技術支援】」（公示日:2015 年 4 月 15 日／公示番号:150208)について、ご質問いただいた内容に対し以下のとおり回答いたします。

No	当該頁項目	質問	回答
1	5. 実施方針及び留意事項、 (4) マスタートレーナー	<p>(下3行目)・・・なお、約 75 名(・・・)の RHD 職員が技術移転 OJT 対象者として・・・</p> <p>とありますが、マスタートレーナーのほか、ワークショップ参加者(20名程度)および各専門家の参加を考慮しますと、総計 110 名程度が想定されます。現地での点検には移動用の車が必要ですので、20～30台程度の車の手配が必要となります。RHD は OJT で必要となります車の提供を考えているのでしょうか？ 仮に RHD により車の提供が期待できない場合、コンサルタントが備車することとなるかと思慮されますが、その費用は見積に含めてよろしいでしょうか？</p> <p>併せまして、点検等の現地で100名を超える OJT 参加者が昼食をとれる食堂を見つけることは困難と考えられます。そのため弁当の配布も必要かと考えられますが、その費用も見積に含めてよろしいでしょうか？</p>	<p>RHD の移動手段はバングラデシュ側で手配することを前提とします。したがって、コンサルタント専門家の移動に必要な車のみ見積計上下さい。OJT 活動に伴うカウンターパートの飲食費は見積りに含みません。</p> <p>合計 75 名のマスタートレーナーを一室に会しての OJT は想定しておりません。各分野 1 シーズ当りの最適な規模をご検討下さい。</p>
2	5. 実施方針及び留意事項、 (5) モデル地区の選定	<p>(末行)・・・選定される Division の管理する橋梁は計300橋程度を想定・・・</p> <p>とありますが、300 橋の点検、健全度診断、BMS への入力には少々時間が掛かりすぎ、参加する RHD 職員の拘束時間が長くなるため、RHD の通常業務への影響が懸念されます。そのため100橋程度を OJT の対象とし、RHD 職員の通常業務への影響を軽減し、併せて OJT の各作業の質を高めたいと考え、100橋程度を管理します Sub Division をモデル地区に設定したいと考えますが、可能でしょうか？</p>	<p>妥当性につき検討しますがプロポーザルにてご提案をお願いします。最終的にはプロジェクト開始後の決定となります。</p>

3	<p>5. 実施方針及び留意事項、 (6) 橋梁維持管理業務の技術移転</p>	<p>(下3行目)なお、OJT 期間中(21ヶ月を想定)は、・・・とありますが、契約予定期間(約30ヶ月)および準備期間(2～3ヶ月)を考え、また OJT を維持管理サイクルに従って一貫通貫的な実施を計画した場合、OJT に21ヶ月費やすとマニュアル作成に投入する時間が不足します。 また、OJT に参加します RHD 職員を長期間拘束することとなり、RHD の業務に支障することが懸念されます。従いまして、OJT の大幅な期間短縮が必要と考えられますが、可能でしょうか？</p>	<p>配布資料の R/D Annex 1 Project Design Matrix 及び Annex 2 Tentative Plan of Operation を参照のうえ、ご提案下さい。</p>
4	<p>5. 実施方針及び留意事項、 (7) 橋梁補修・補強工法の選定</p>	<p>補修・補強マニュアルは、できるだけ多くの写真、図を使用して作業内容を判りやすく説明したものとしたいと考えています。マニュアルで使用します写真、図は、バ国では橋梁補修・補強事例が極めて少ないため現地では入手が不可能です。そのため、工事事例が豊富で、写真等の管理が進んでいる日本国内での収集がもっとも効率的であり、確実であると考えております。従いまして、橋梁補修・補強を担当します専門家は、その業務の一部を日本国内で実施したいと考えていますが可能でしょうか？</p>	<p>日本国内の事例を使用させていただいて構いません。日本国内での必要な活動を見積計上して下さい。</p>
5	<p>5. 実施方針及び留意事項、 (8) 橋梁マネジメントシステム</p>	<p>(指示書 7 ページ、上2～3行)橋梁マネジメントシステムに必要なプログラム・・・別見積もりとして提示すること。とありますが、プログラム構築作業を日本の国内会社への外注は可能でしょうか？</p>	<p>業務指示書記載の留意事項をご理解のうえ、プログラム構築作業を日本の国内会社への外注を妨げるものではありません。</p>
6	<p>6. 業務の内容 (7) セミナー、広報等</p>	<p>「セミナーは、・・・計25回で参加者は各回平均15名程度の規模で・・・。」と記述されていますが、マニュアルを作成するために実施する本部メンバーとの会議(ワークショップ)、マスタートレーナー(MT)に対する教育訓練(トレーニング)、MT による RHD 職員に対する教育訓練(トレーニング)、RHD 職員、ゼネコン、コンサルタント、大学関係者、近隣国の類似プロジェクトの C/P、橋梁維持管理先進国の学術経験者などに参加を呼び掛ける講習会(セミナー)として用語を使い分けています。上記講習会(セミナー)だけを(7)でいうセミナーと見なし、マニュアル、BMS 完成後に25回開催するのは、トレーニングと時期が重なることもあり、実質的に不可能です。上記、ワークショップ、トレーニング、</p>	<p>そのような理解で結構です。OJT 活動期間中のマスタートレーナーに対する技術移転の場、マスタートレーナー以外にも活動内容や成果を広く普及、広報する場等としてセミナーの活用を企画・提案して下さい。</p>

		セミナーを全て(7)でいうセミナーと見なして構わないでしょうか？	
7	業務指示書 第9 プロポーザルの評価 1 プロポーザルの評価基準 (1)評価対象とする業務従事者の担当分野	橋梁健全度評価の分野では、専門性の観点からコンクリート構造物と鋼構造物の二つに分野が分かれています。技術士、橋梁診断士という診断に関係する資格も2つに分かれています。「橋梁健全度評価」は評価対象分野であり、評価対象者をコンクリート構造物分野と鋼構造物分野の2人にした場合、その評価方法はどのようになるのでしょうか？	両団員の業務内容と業務期間等を勘案しつつ、2者を合わせて評価します。また、費用対効果を含め、分担が適切であれば要員計画の評価にも加味します。
8	貸与資料 RECORD of DISCUSSIONS P.13 Appendix2 : MAIN POINT DISCUSSED 「 VIII PROJECT OFFICE」	プロジェクトオフィスに関する見積もりは、「コンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」に示されている第3章直接経費の費目別説明にある(3)一般業務費について、「エ.賃借料、オ.施設・機材保守管理費、コ.水道光熱費」は計上せず、併せて、その他必要なコピー機、電話・FAX、インターネット設備費及び使用料等も計上するものはない解釈でよろしいでしょうか。また、エアコンの設置台数やそれら提供された機材・機器等が正常に機能しなかった場合はコンサルタントが準備するのでしょうか？	プロジェクトオフィス及び基本的な什器類はバングラデシュ側で準備することを想定していますので、プロポーザル提出時における見積計上は不要です。
9	貸与資料 RECORD of DISCUSSIONS P.13 Appendix2 : MAIN POINT DISCUSSED 「IXEQUIPMENT」	コンサルタントが使用するEQUIPMENTは見積もりに計上する解釈でよろしいでしょうか。	業務指示書第 3 業務実施上の条件 (5)業務用機材をご参照下さい。

以上